

「保健医療科学」 第62巻 第6号 予告

特集：保健医療における費用対効果の評価方法と活用（仮題）

医療経済評価手法の概要（仮題）	福田敬
医療経済評価ガイドライン案（仮題）	白岩健
保健事業の経済評価事例と活用の可能性（仮題）	池田俊也
医薬品の経済評価事例と活用の可能性（仮題）	五十嵐中
地方行政における費用対効果評価の活用（仮題）	菅野匡彦
医療経済評価の報告様式に関するCHEERS声明（仮題）	白岩健
医療資源配分の社会的価値に関する検討（仮題）	斎藤信也
医療経済評価の方法論に関するガイドライン（仮題）	福田敬

編集後記

困難な事態で議論が混迷する場合には、基本的な考え方に立ち返ることが求められる。基本的な考え方に戻って問題を考える際には、海外の事例も参考になると思われる。海外の取り組みを参考にすることは、より広い範囲の知見を用いて考える材料を増やすだけではなく、考え方そのものの違いを整理する上でも有用であると思われるからである。

本号で特集した国際保健の取り組みは、歴史的なパラダイム転換を重ねて発展しており、問題解決に取り組む際の考え方そのものが時代と共に問われ、進化してきたが、さらに検討を深めるべき課題が指摘されているだけでなく、従来の予測を超えた課題も生じており、そのような状況での様々な取り組みやそれぞれの課題の整理が各論文で示されている。読者の方々が挑まれている課題の解決に役立ち、その経験が国際保健に展開にも役立つことを願いたい。

（生活環境研究部 山口一郎）